

## 平成 25 年度 香川県特色ある体力づくり推進学校(園)表彰調査票

記載責任者名 ( 教頭 檜尾 由美子 )

学校(園)名	綾歌郡宇多津町立宇多津北小学校	学校(園)長名	
		横山 新二	
学校所在地	綾歌郡宇多津町浜八番丁 1 1 5 電話 ( 0877 ) 49-2000	児童生徒数	学級数
		7 1 5 人	2 6 学級

## 1 体力づくりを推進する上での学校(園)の課題

- (1) 「げんき・きれい・いのち」の合い言葉のもと、児童一人一人が運動の楽しさや喜びを味わい、自らの課題を発見し、仲間と豊かにかかわりあいながら解決していく中で、積極的に運動に取り組む態度を育成する。
- (2) 自己の健康状態や体力を知り、自分に適した課題をもって自主的・継続的に運動に取り組み、体力・運動技能の向上を図る。

## 2 平成 25 年度の体力づくりの重点目標と全体計画

## (1) 重点目標

- ① 教科体育の充実
- ② ふれあいタイム・なかよしタイム・昼休み運動等の外遊び奨励
- ③ クラスマッチによる運動の充実
- ④ 放課後体育活動の奨励
- ⑤ 基本的生活習慣の確立

## (2) 全体計画

月	主な体育活動	ふれあいタイム・なかよしタイム・昼休み			放課後体育活動	
4 月	体操・集団行動	クラス毎などの自由遊び			●陸上特別練習	
5 月	運動会 新体力テスト	体育委員会による レッツチャレンジ体力づくり				
6 月	水泳指導	体幹づくり			●水泳特別練習	
7 月	水泳クラスマッチ	異学年運動あそび			↓	
9 月	陸上指導				8 月	
10 月	陸上指導 球技クラスマッチ					
11 月	持久走					
12 月	マラソン大会					
1 月	なわとび検定					
2 月	なわとび検定					

### 3 体力づくりの取組状況

(1) 重点的に取り組んでいる項目に○をつけてください。

項 目	○をつける
ア 戸外遊びができる時間と場（園庭環境等）を確保している<幼稚園>	
イ 園外保育を積極的に行っている<幼稚園>	
ウ 教材・教具や場を工夫したりして体育の授業を行っている	○
エ 始業前や授業の間の時間等を利用して体を動かす機会を設定している	○
オ 意欲的に取り組める行事の工夫をしている	○
カ 運動部活動の運営を工夫している<中学校>	
キ 家庭や地域と連携して、園児、児童生徒の体力向上に取り組んでいる	○
ク 望ましい生活習慣、食習慣を確立する取組を進めている	○

(2) (1)で○をつけた項目について取組の内容や方法等を書いてください。

ウ 運動技能の習得や安全な行動の仕方，そして協調性や公正な態度を育成するために，教科体育で児童独自のスキルを作成させる時間をとったり，学年合同体育で発表する場を設けたりして体育学習の充実を図っている。そして，現職教育で，体育の授業研究や実技研修を位置付け，全学年の系統性を見通し，児童のバランス感覚や体幹づくりに取り組み，教員の指導力向上を図っている。さらに 3～6 年生に体育を専門とする教員を配置して，学年合同体育で，体育の指導方法や補強運動を紹介する機会を設けている。

また，1校1運動として，「鉄棒逆上がり」の充実をめざして，全校で鉄棒逆上がりに取り組むことで，自ら進んで継続して運動する習慣を育てるとともに，達成感を味わうことができるように呼びかけている。自己評価につなげ意欲化を図るために，検定カード等を活用し，自主的・継続的に運動に親しむ習慣を身に付けている。そのほかにも，「なわとび・のぼり棒・うんてい・水泳」などの各種検定カードを設け，チャレンジして名人になりたいという目標や夢づくりを大切にしている。ゴールとして「校長表彰を受ける」という喜びを獲得する体験も設定し，全校で取り組みを工夫している。

エ，オ

2 時間目後の「なかよしタイム」を設定し，月 4 回程度の「異学年ふれあい遊び」を計画的に行っている。1 学期は，ペア学年からスタートして，体と体がふれあって遊ぶ楽しさを味わわせている。後半は，異学年色別グループによる活動を推進し，児童リーダーを中心に，「計画→実行→ふり返りの時間」を設け，集団での運動遊びを楽しむ活動を工夫している。

また，クラスマッチによる運動の充実を推奨し，共通の目標に向けて練習に取り組むことで，助け合い，励まし合う仲間づくりをめざし，全校一斉クラスマッチの他に，計画的な学年クラスマッチを領域や单元ごとに行うことで，体力向上やチーム力アップの喜びと意欲付けを図っている。

キ 保護者に理解を得て、放課後体育活動の一環として、特別放課後クラブ(宇多津北AC)を立ち上げ、体力づくりとともに、競技レベルの向上を図っている。内容として体力アップ特別練習(水泳・陸上)を奨励し、陸上は、郡1位、県上位をめざしている。水泳は(夏期 15:50~17:00 頃までの約1時間)、3~6年生の希望者を多く募り、ビート板など補助具を用いて、個人のためあてに即した練習に参加させている。陸上は(1年間を通して 15:50~17:20 頃までの約1時間30分)、4・5・6年の希望者の参加を募って、実施している。練習内容は、基礎体力づくり、サーキットトレーニングなどを取り入れ、運動能力の向上をめざしている。

特別放課後クラブ(宇多津北AC)は、競技レベルアップのみに終始せず、放課後の家庭生活の安定にもつなげる成果も期待でき、問題行動のある児童等への支援としても有効であり、保護者から大いに感謝されている。

ク 「宇多津教育ソリューションシステム」に基づいた系統的な健康教育を推進している。特に4年生では、小児生活習慣病予防検診との関連を図った食育を推進している。さらに5、6年生には月一度の弁当の日を設定して、食に対する関心と健康管理についての知識理解促進を図っている。また、本校の特色である足裏健康測定器を活用した健康教育や姿勢指導にも重点をおいている。

歯の健康においては、保護者ボランティアにも応援をもらって、フッ素洗口や歯みがき個別指導を継続し、家庭と連携を図りながら、う歯予防に努めている。

日常の健康管理・保健指導の充実を図り、アレルギー疾患管理表や保健調査票等から要管理児童への対処法をまとめ、栄養士や町給食センターと連携をもちながら、緊急事態への対応に備えている。

#### 4 成果と課題

##### 【成果】

○全校で取り組んでいる「鉄棒逆上がり」については、平成19年度は52.5%の全校児童しか達成できていなかったが、22年度は67.5%達成し、さらに本年度6年生は全体で77%以達成している。

○異学年での運動遊びが、昼休みの自由遊びにも広がっている。クラスマッチへの意気込みが高くなり、友達同士で練習する光景も多くみられ、学級力の向上にも結び付いている。

○全国小学生陸上競技交流大会へは、昨年度に引き続き、本年度も2名(県1位獲得)参加。綾歌郡陸上大会においての入賞者(3位以内)は綾歌郡全体の9割以上を占め、毎年異なる競技で新記録を残している。綾歌郡では総合1位の成績を保持し、香川県出場者も増加傾向である。

○健康面においては、早寝児童の割合が高学年になるにつれ多くなり、中・高学年平均80%以上の成果を挙げている。欠席者も大きく減少しており、「10日以上欠席者調べ」では23年度は40名ほどいたが、昨年度は大幅に25名と減少し、25年度10月現在では4名のみである。

##### 【課題】

○「宇多津教育ソリューションシステム」においても、保幼・小中学校と連携して、体力づくり系統表を作成しているので、重点課題を共有化し、さらなる実践に結び付けたい。

○地域行事に参加する家庭が少ないので、地域スポーツ少年団や町スポーツ教室への参加をすすめ、家庭での体力づくりの啓発に努めたい。

○50メートル走の結果からも、走力は全国平均以上であるので、低学年より感覚運動を積極的に取り入れ、体幹を鍛える教科体育の強化に努めたい。